



野津健市社長

【前職時代から建設業と縁があり】

Q) 社長の今に至るまでの経歴は？
私の祖父が1958年に会社を創立しました。私は米子東高から慶応大学へ進学し保険会社に入社し、21年務めた間、勤務地は岡山→名古屋→バンコク→名古屋→ベルギーと変わりました。家庭の事情もあり当社に4年半前に入社、昨年に社長に就任しました。保険業とは異業種でしたが、バンコク勤務時代に建築中に橋が落ちる大事故があった関係で、建設業については縁遠くありませんでした。また、創業者と言う事で、父親、祖父を見ていたこともあり葛藤はありませんでした。

【4年間で3年間はコテンパンに】

Q) 経歴の中で困難だった事は？
トヨタ自動車の担当だった2009年から2013年。リーマンショックの直後トヨタが一番大変だった時代。その後トヨタがアメリカで品質問題、豊田章男社長が公聴会、東日本大震災による東北地方のサプライヤ被害



田中裕也さん
入社5年目 土木部

【土木を学び地元へ直接貢献】

Q) 入社の決め手は？
工業高校で土木、大学進学後も土木を学んできました。県外就職も考えましたが、地元へ貢献したいとの思いで就職を決めました。就活の時に会社見学をした際、大手のゼネコンも見学しましたが、働いていて地元へ直接貢献できることが魅力ではないかと思えます。

【最後に大変にならないように】

Q) 働いていてつらかった時、どう乗り越えた？
工期が決まっているので、工期末になると忙しくなるのが辛いかなあ。工期末はそうなるのが分かっているので最後に大変にならないように準備しておいたり、上司に確認するなどして乗り越えました。上司とは、2カ月に1回の面談でプライベートも含めて聞いてもらっています。

や計画停電、その年タイの洪水によりトヨタの工場被害。円高が77円まで進んで、ドル建ての保険だったので何もしていないのに値打ちが下がりました。4年間で3年間はコテンパンにやられたが、トヨタの人たちが知恵を絞って対応されてた姿を見て(トヨタ本社のトイレのペーパータオルの撤去など)勉強になりました。トヨタの復活を経験する前にベルギーに転職になったのが残念でした。

【仕事が来年もあるわけではない】

Q) 売上が去年落ちたのはコロナ？
コロナの影響はありませんでした。建設業は毎年仕事を取ってこなくてはなりません。工事が終われば次の仕事を取らなければならない。今年の仕事が来年もあるわけではないので、年により凸凹があります。ただ来年以降に施工主のコロナ影響で仕事の量に影響があるかもしれないので、影響が最小限になるように営業しなくてはならない。また、業績の評価ポイントを変えた事も影響しています。つまり、今までは出来上がった仕事を結果として評価していましたが、年度末時点でできた部分の評価をするように変えました。

【戻ったとしても景色は一変して】

Q) アフターコロナでお客様の消費が落ちた時にどうしますか？
経済を動かすためには、人・モノ・金。リーマンショックは金が動かなくなり、コロナは人の動きが徹底的にやられた。人が動くようになれば経済がある程度復活すると思うが、戻っても景色が一変していると思います。それを踏まえて考える事が必要です。建設業はそれほど影響はないと考えていますが、お客様が影響を受けているのは事実です。

【変わらなければ生き残れない！】

Q) 他社に対する強みは？
BIMを15年以上前から取り組んでいます。モノになるかどうか分からない中で始めました。変わらないものは生き残れない、生き残ったものは変化に対応していったものです。

【住み続けられる街を】

Q) SDGs宣言 県営水力発電所以外の取り組みは？
「住み続けられる街を」これがまさに建設会社の本質。今の豊かな状態を次の世代に引き継ぐ、開発と豊かさ、地球環境を如何にうまく循環させるのが建設業のSDGs貢献のポイントだと考えています。

私たち
こんな会社です



藤田光瑠さん
入社5年目 業務部

本社: 米子市 資本金1億円
従業員194名(女性31名)
売上: 昨年98億円 今年度120億超予測
新規採用: 大学高専短大が少なかったが、今年は大卒8名(うち鳥大1名)

【事業内容】

ゼネコンとは「総合請負業」
建築主は設計者に設計を依頼し、次に設計結果をもとに施工者(請負者)に依頼
施工者は専門工事業者を使って工事を進めるオーケストラの指揮者のような存在で、主な業務は以下の通り
・ 社会資本の整備: 街を作る
・ 安全で安心な暮らし: 災害復旧、治水対策、地震対策
・ 環境の保全と創造: 温暖化対策、自然エネルギーの活用、生態系の保全

【こんなはずでは、を減らしたい】

Q) ツナガルドボクとの活動を通じて学生はどう見えますか？
意義は活動を通じて当社のナマの姿を知ってもらえる事です。一般的に、就職しても離職率が高いのは、こんなはずではなかったと言う要素が大きいと思います。企業、学生双方にとって不幸なので、認識のミスマッチを減らしたいと思っています。自戒も込めて言うと、学生時代の知識には限界がある事を踏まえ社会人から学んで欲しいのと、社会人に時間をもらっていることへの感謝と理解をして欲しい。

【少人数でも効率化、品質安定化】

Q) BIM・CIMでこの先変わる点は？
3次元になる事でかっこよく見えるだけではなく、不整合を防止する、誰がやっても品質が一定する、作業が安全にできる、などの技術として昇華させて行く必要があります。人手不足が深刻な業界なので、如何に少ない人数でも効率化、品質を安定できるかがポイント。人が測量しているのを見たことがありますか？ 2-3人で2-3時間かかっていた事が数分でしかも正確に終わる。また、建機の自動運転などで、設定すれば掘る深さを制限できるなどです。

災害時に自衛隊が来るための道路確保は、実は建設業が行っています
100億円企業を目指す: コアコンピタンスはBIM、CIMなどの建設DXです
地域貢献活動:
・ 明道小学校 まち探検
・ 学童保育 ものづくり体験
・ 小学生への 現場見学会
・ 尚徳中学校 修学旅行、見学
・ 鳥取大学: ブリッジコンテストの支援、逆インターンシップ、現場見学会(ツナガルドボク)
SDG's 宣言: 水力発電所の再整備と共同運営
新社屋をFULL BIMでZEB(ゼロエネルギービル)として設計中

【今は一日中現場です】

Q) 一日の業務の流れは？
今は一日中現場。測量したり、写真撮影をして、発注者に提出した計画書通りであることの説明、進捗報告をしたり、デスクワークはほとんどないです。

【基礎ができた時点で既に嬉しい】

Q) 入社して初めて構造物が完成した時の気持ちは？
入社一年目に担当したのが橋台で、最初の基礎コンクリートができた時点で既にうれしかった。この業界は完成した時に一番やりがいを感じられると思います。

【土木は経験工学、日々勉強です】

Q) 今後の目標は？ それに向かっどう努力する？
早く一人で現場で業務をさげられるようになりたい。土木は経験工学と言われていて、何をやってても初めてと言う部分があるので日々勉強だと思っています。

【測量実習での学びは役立ちます】

Q) BIM CIMは学校では習わないが、学校時代に勉強しておいた方がよい事は？
大学時代の勉強は、土木施工管理士の資格試験勉強の時には役に立つが、実際の業務で役立つ勉強はそんなにないです。大学の測量の実習で学んでいる事は役立つと思います。

【毎月ドローンでデータ収集】

Q) ドローンを使える社員はいる？
自分が担当している土木部は毎月月末にドローンでデータを収集して、進捗状況を確認したり資料提出に使ったりしています。現在はICT推進室のメンバーがドローンを操作していますが、若手の勉強会なども行っているで、今後使える人が増えていくと思います。

【隣の工区との関係づくりも】

Q) どんなところでコミュニケーション能力が試される？
だれでも入社後はずですが、まず上司への報連相。業者との打合せ。職人さんは気難しい人が多いのでどう話せば良いか。隣の工区との良好な関係作りもあります。

【学生時代の勉強を思い出します】

Q) 資格の勉強はいつ？
業務が終わって帰ってから時間を見つけて。まず2級の試験を受けることとなります。学生時代の試験勉強を思い出します。

【やる時と休みのメリハリ】

Q) 先輩社員に追いつくためにした努力は？
初めてのことがばかりなので、向上心を忘れないことが大切。ただし、やる時はやる、休む時は休むことにしています。昼休みまでやるとメリハリがなくなるので。